

セキュリティサービス

セコム独自の仕組みにより高品質なオンライン・セキュリティシステムを実現しています。

セコムのオンライン・セキュリティシステムの仕組みは、ご契約先にセンサーなど各種セキュリティ機器を取り付け、通信回線を利用してお客様とセコムをつなぎ、コントロールセンターが24時間365日監視します。そして、侵入・火災などの異常信号を受信すると、最寄りの緊急発進拠点から緊急対処員が駆けつけ、必要に応じて警察や消防に通報します。セコムがセキュリティ機器の設置や監視だけでなく、緊急対処までを提供する理由は、「緊急対処を行い、ご契約先の安全を確保して、初めて安全を提供したことになる」と考えているからです。

セコムのオンライン・セキュリティシステムは、国内だけでなく、海外でも「セコム方式」として着実に評価され始めています。国内外でこのサービスが支持されるのは、次のような優位性があるからだと考えています。

- **スピーディーな対応力**：セコムは、長年培った豊富な経験と、その経験を生かした管制員の素早い判断力や訓練された緊急対処員の初動の速さにより、迅速な緊急対処を可能にしています。加えて、緊急発進拠点は業界最多の全国約2,750カ所にあり、きめ細かくエリア分けできるため、より迅速な緊急対処が可能です。管制員や緊急対処員のスピーディーな対応力は、多くのお客様から評価されています。
- **人と機械による総合的な安全システム**：セコムのオンライン・セキュリティシステムは、異常の監視、情報の伝達などはセンサーや通信機器等の機械の迅速性と正確性を利用し、異常事案の分析や緊急対処等の判断力や機動力、対応力を必要とする部分は人間が行うことで、効率的で質の高いセキュリティサービスを実現しています。セコムは、さまざまな事案に対応できる安全のプロフェッショナルである緊急対処員の育成と、高度な技術を駆使した信頼性の高いセキュリティ機器の提供を通じて、人と機械による総合的な安全システムとして、ワンランク上のセキュリティサービスを提供しています。
- **セキュリティシステムを一貫して提供する体制**：セコムには、セキュリティシステムの研究開発から機器の製造、販売、セキュリティプランニング、設置工事、24時間監視、緊急対処、メンテナンスまでを一貫して提供する体制があります。このような体制がセコムの高い信頼性とブランド力を築き、高品質なセキュリティサービスを実現しています。

- **独自の研究開発体制**：セコムIS 研究所は基礎技術の研究に取り組み、開発センターがその基礎技術を生かして新たなセキュリティシステムの開発を行っています。セコムは、こうした研究開発体制を持つことで、お客様の声を反映させたシステムを、迅速かつ的確に開発することができます。また、既存のセキュリティシステムの改善などにも柔軟に対応できます。
- **人材の教育と管理**：全国4カ所の研修センターで、緊急対処員をはじめ、営業、管理担当者など全社員が、知識や技術とともに、「セコムの理念」や安全のプロとしての行動規範を徹底的に習得することを繰り返しています。これが、質の高いサービスの提供に結びついています。
- **総合的な安心の提供**：セコムは、セキュリティサービス事業のほかに、防災サービス、メディカルサービス、保険サービス、地理情報サービス、不動産開発・販売、情報通信・その他のサービス事業を展開しており、“ALL SECOM”（セコムグループ総力の結集）で各事業のサービスを融合させることによって、「安全・安心」の総合的なサービスを提供しています。これにより、セコムは単にセキュリティシステムの提供にとどまらず、お客様が不安を感じられたときにはいつでも相談できる「安全・安心」のパートナーとなり得るのです。
- **国や地域のニーズに合わせたセキュリティサービス**：「セコム方式」が、海外のお客様からも高く評価されている理由は、セコムが1978年に海外に進出して以来、国や地域の状況に合わせてカスタマイズした高品質なサービスを提供しているからです。海外での長い経験と蓄積したノウハウを生かし、2011年4月には海外12番目としてニュージーランドに進出しました。セコムは、今後も海外のお客様に受け入れられている「セコム方式」を世界に普及させていきます。

これらの特長を持つオンライン・セキュリティシステムを、より多くのお客様にご活用いただくためには、サービスを最適な価格で提供する必要があります。そこでセコムでは、お客様にレンタル方式でシステムを提供することを基本にしています。これにより、お客様はセキュリティ機器を購入する場合に比べて、初期の導入費用を抑えることができます。また、セコムがこれらの機器を維持・管理することで、故障や更新が必要な場合に、迅速かつ柔軟な対応が可能となり、常に安定した品質の高いセキュリティサービスを提供できます。このようなセコム独自の仕組みと特長が、高品質なセキュリティシステムを実現しているのです。

事業所向けセキュリティサービス



最新の技術と独自のノウハウを生かしたサービスシステムを創造し、さらなる普及に努めています。

高度で多様な大規模施設のセキュリティニーズに対応

大規模施設では、犯罪や事故を未然に防止し、安全な運営・管理を実現する高度なセキュリティが求められています。セコムはこのような大規模施設のニーズに対して、長年にわたって蓄積してきた豊富な経験とノウハウにより、お客様に最適なサービスシステムをカスタマイズして提案し、大規模施設のセキュリティ受注は堅調に推移しています。

例えば、2010年10月にオープンした羽田空港国際線旅客ターミナル（東京都大田区）では、常駐警備サービスや従業員向けの空港保安検査、空港利用者の方が突然心停止した場合に備える救命用の「セコムAEDパッケージサービス」などをご契約いただき、新国際線旅客ターミナルの安全に貢献しています。

2011年3月にオープンした博多駅ビルの「JR博多シティ」（福岡市）では、セコムが駅の「安全・安心」を総合的にサポートしています。JR博多シティは、九州新幹線（鹿児島ルート）の全線開通を踏まえて建設され、20万㎡の延床面積がある、駅ビルとしては日本で最大規模の商業施設です。

このJR博多シティに、セコムは大規模施設向け安全管理システムである「トータックスZETA」、合併会社のジェイアール九州セコム（株）による常駐警備サービス、建物入口の不正な通行を規制する「セコムセキュリティゲート」、監視カメラシステム、飲食店のキッチンフード内に取り付ける自動消火システム「トマホークジェット」など、数多くのサービスシステムを提供しています。

セコムの大きな特長は、JR博多シティの事例が実証しているように、豊富なサービスシステムを複合的に組み合わせる



「JR博多シティ」（福岡市）

事業所向けセキュリティサービス

ことで、お客様の多様なニーズに応えることができる点です。また、機器によるセキュリティサービスを提供するだけでなく、高度な訓練を受けた安全のプロフェッショナルである常駐警備員による運用サービスも提供できるところにあります。これにより、セキュリティシステムと人的警備が一体となった質の高いセキュリティを実現しています。

セコムは、これからもセコムだからこそ提供できる質の高いセキュリティと総合力で、大規模施設の高度で多様なニーズに応えていきます。

強盗を自動検知して、より迅速な対応が可能なシステムを開発

近年、強盗事件は刃物や銃器、刀剣類を使うなど凶悪化しており、セキュリティシステムの非常通報ボタンを押してセコムに通報したくても、犯人に脅迫されるなど、状況によってボタンを押せない場合があります。そこで、非常通報ボタンを押さなくてもセコムに通報できるシステムとして開発したのが、「インテリジェント非常通報システム」です。

このシステムは、画像センサーの画像を利用したオンライン画像監視システム「セコムAX」や、顔検知機能を内蔵したインターホン「セキュリフェースインターホン」などで培ったセコム独自の画像処理技術と音声処理技術などを駆使して開発しました。



オンライン画像監視システム「セコムAX」

その仕組みは、システムを金庫などの重要物の周辺に設置することで、覆面やマスクで顔を隠している不審者や複数で金庫に近づく不審者、悲鳴などを、異常事態として自動的に検知します。そして、異常信号とともに音声と画像をセコム・コントロールセンターと画像センターに送信して、管制員が即座に緊急対処員に現場への急行を指示し、必要に応じて警察に通報します。

「インテリジェント非常通報システム」は、強盗、窃盗行為などを早期に検知して自動的に通報できるので、より迅速な対応が可能となり、犯罪の未然防止や抑止効果が期待できます。また、このシステムは、遠隔画像監視システム「セコムIX」と組み合わせて使用するので、より高度なセキュリティを提供できます。セコムは、ワンランク上のセキュリティを実現するこのシステムを、多くのお客様にご紹介しています。

次世代のセンサー技術で高精度な屋外侵入監視センサーを開発

これまで屋外で不審者の侵入を監視する方法としては、敷地の外周に赤外線投射器と受光器を設置して、赤外線による“線状”の警戒線を張り、その間を遮る侵入者を検知する方法が一般的でした。しかし、広い敷地の場合、この方法では複数の投射器と受光器が必要になり、また赤外線を遮る植栽や物置などの障害物がある場所には設置できないなどの問題がありました。



「インテリジェント非常通報システム」

このような問題を解決したのが、警戒したい区域を“面”で監視できる屋外侵入監視センサー「レーザーセンサー」です。次世代のセンサー技術で開発した「レーザーセンサー」は、レーザービームが半円形状に広がるので、1台で広い敷地を監視できるだけでなく、植栽など障害物がある場所でも自在に監視範囲を設定することができます。また、監視範囲に変化があれば、それに応じて自動的に範囲を再設定する自己学習機能も備えています。さらに、セコムのオンライン・セキュリティシステムと連動すれば、侵入異常を検知した場合に、セコム・コントロールセンターへ自動的に通報します。

「レーザーセンサー」は、広い敷地を持つ工場、事務所や店舗の外周、学校、工事現場、資材置場などの監視に最適です。セコムは、これまで屋外監視が難しかった場所でも設置できる「レーザーセンサー」を積極的に提案しています。

立体画像を使った歩行型顔認証システムを開発

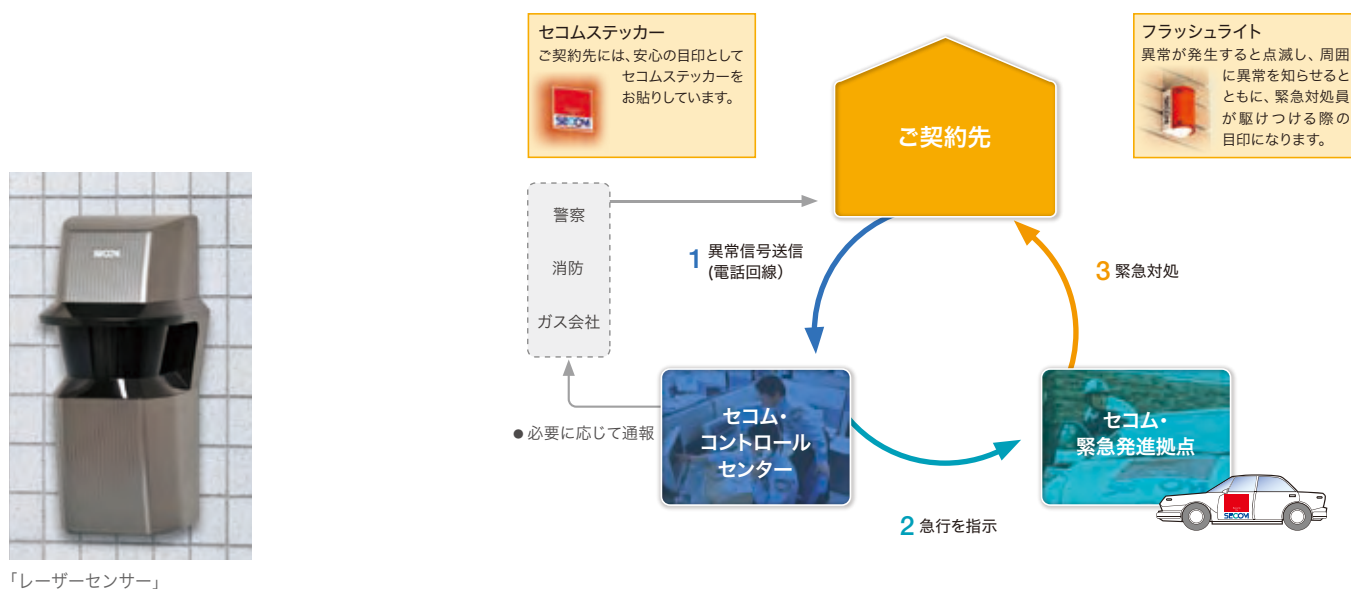
近年、IDカードの盗難や紛失、貸与による侵入や個人情報漏えいが問題化し、企業等には確実な出入管理と本人確認が求められています。このような不正な入退室を防ぐために、指紋や静脈パターン、顔などを使った生体認証による出入管理システムが導入されていますが、従来の顔認証システムは専用のカメラに向かって正面を向いたり、静止したり、システムを操作しなければなりません。

そこで、セコムIS研究所では、特別な動作をしなくても、自然に歩いている状態で出入管理から不審者検知までを行う、監視カメラを利用した顔認証システムの開発を進めてきました。



セコム・コントロールセンター

セントラライズドシステム



「レーザーセンサー」

事業所向けセキュリティサービス

た。その成果として、2011年度中に発売を予定しているのが、立体画像を使った歩行型顔認証システム「ウォークスルー顔認証システム」です。

このシステムは、「セコムAX」や「セキュリフェースインターホン」、さらには指紋認証による出入管理システム「セサモIDs」などで培った、セコム独自の画像処理技術を結集して開発しました。

「ウォークスルー顔認証システム」の仕組みは、事前に登録された1枚の顔写真からその人物の顔の立体画像を自動的に作成し、監視カメラで撮影された顔が登録された人物かどうかを認証します。

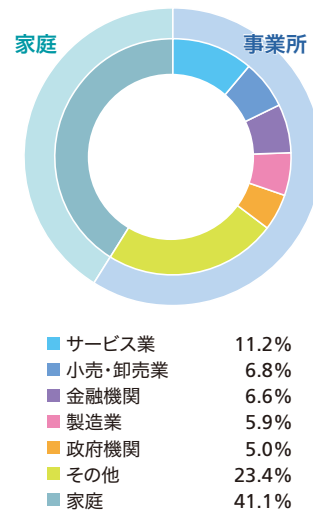
このシステムの特長は、顔の立体画像を使用することで、従来の顔認証システムでは困難だった顔や姿勢の変化に対して、的確に対応できることです。また、毎分約60人の歩行者を認証することができるので、出退勤時間などの頻繁な出入りにも対応できます。「ウォークスルー顔認証システム」は、従業員の出入管理、事前に登録した人物の来訪検知、通行者の記録や管理などに利用でき、高精度でスピーディーな顔認証を行うことにより、便利で高度な出入管理を実現します。

セコムは、これからも「世の中にない」「セコムだけにしかできない」独創的なサービスシステムを開発し、商品化を進めていきます。



「ウォークスルー顔認証システム」

セントラライズドシステムの契約先区分
(2011年3月31日現在)



家庭向けセキュリティサービス



セコムは、多岐にわたるご家庭の「安全・安心」ニーズに応え、進化し続ける「セコム・ホームセキュリティ」を中心に、セコムだからこそ実現できる安心感を提供しています。

30年間の豊富な経験とノウハウでご家庭を守る「セコム・ホームセキュリティ」

1981年に発売を開始した家庭向けオンライン・セキュリティシステム「セコム・ホームセキュリティ」は、2011年で発売30周年を迎えました。この30年の間に「セコム・ホームセキュリティ」は、社会や暮らしの変化、犯罪の動向などを先読みしながら進化を遂げてきました。

「セコム・ホームセキュリティ」の仕組みは、住宅に設置したセンサーなどのセキュリティ機器で、侵入・火災・ガス漏れ・非常通報・救急通報を24時間365日監視し、センサーが異常を感知すると、異常信号をセコム・コントロールセンターに送信します。セコム・コントロールセンターでは、管制員が状況を確認して、緊急対処員に対処を指示し、必要に応じて警察や消防へ通報します。

発売翌年の1982年には、「セコム・ホームセキュリティ」のオプションとして、急病やケガをしたときにペンダント型の携帯端末を握るだけで救急信号を送信できる救急通報サービス「マイドクター」の提供を開始。2003年には「セコム・ホー

ムセキュリティ」のお客を対象とした電話健康相談や生活習慣チェックなどのサービスを提供する「セコム・メディカルクラブ」も始めました。そして、2005年には生活支援サービス「セコム・ホームサービス」を開始するなど、ご家庭の「安全・安心」に必要なサービスを進化させています。

また、近年、凶悪な強盗事件が多いことから、「セコム・ホームセキュリティ」の防犯機能を強化するサービス・商品も向上させています。例えば、敷地内への侵入をセンサーが感知するとセコム・コントロールセンターが画像で監視・対応する「屋外画像監視サービス」、押し込み強盗対策として有効な顔検知機能付きインターホン「セキュリフェースインターホン」、侵入の手口として多いガラス破りを困難にする防犯合わせガラス「SECOMあんしんガラス」などを提供し、お客様のニーズに応じたセキュリティレベルの向上に寄与しています。これらのサービス・商品は、「セコム・ホームセキュリティ」と接続すれば、一層の安心感を得ることができます。

さらに、2011年12月に発売予定の「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」は、これまでのサービスに加えて、生活をより安全・安心・快適・便利にするさまざまな新サービスをひとつのシステムに集約して提供します。新サービスには、例

えば地震などの災害時に備え、ご家族の写真、緊急連絡先、服用している薬の情報などを、セコムの「セキュアデータセンター」でお預かりするサービス、セコムの



「セコム・ホームセキュリティ」



「セコム・ホームセキュリティ G-カスタム」

家庭向けセキュリティサービス

安全なネットワークを利用してお客様が離れたところに住む高齢のご家族を見守ることのできる機能や、撮影した画像や伝言などをご家族やご親戚と共有できる機能などがあります。この新型ホームセキュリティシステムは、防犯をはじめとするセキュリティと情報セキュリティのノウハウ、そして高い研究開発力を持つセコムだからこそ実現できたものです。

セコムは、今後もホームセキュリティシステムを進化させて、さらなる普及に取り組んでいきます。

サービス提供エリアとサービスメニューが拡大する「セコム・ホームサービス」

2005年から「セコム・ホームセキュリティ」のお客様を対象に提供を始めた生活支援サービス「セコム・ホームサービス」は、便利さと質の高いサービス、そして100種類に近いサービスメニューを用意していることがお客様に支持され、年々需要が増加しています。2010年6月からは、一部のサービスを除いて、どなたでもご利用できるようになっており、それが需要の増加に拍車を掛けています。

「セコム・ホームサービス」が提供しているサービスメニューには、セコムのセキュリティスタッフが暮らしの不安を解消する「あんしんサポート」(家の見回りなど)、突然起こった住まいのトラブルに素早く対応する「トラブルサポート」(鍵のトラブルなど)、ご家庭内の家事などのお手伝いをする「家事サポート」(部屋の清掃など)があります。また、「セコム・ホームサービスパック」では、年間を通じてお客様のライフスタイルに合わせたサービスを計画的に提供しています。



「セコム・ホームサービス」の「ご家族おてつだいサービス」

「セコム・ホームサービス」では、常にサービスメニューの拡充に努めており、新たなサービスとして、掃除、洗濯などを短時間でもご利用できる「ご家族おてつだいサービス」、お墓の管理を代行する「お墓の見守りサービス」を開始しました。サービス提供エリアも、ほぼ全国のお客様にご利用いただける体制を整えました。

高齢化や核家族化が急速に進む中で、生活支援サービスの需要はさらに高まることが予想されます。セコムは、今後もさらなるサービスメニューの拡充をめざしていきます。

賃貸住宅市場のニーズに対応した「セコムAS」を開発

近年、アパートや賃貸マンションなどの小規模集合住宅を選ぶ条件に、建物の「防犯」を挙げる方々が増えています。一人暮らしや高齢者だけの入居者が増える中、防犯や防火への備えが必要になっています。そこで、入居者には「安全・安心」を提供し、賃貸住宅のオーナーには他の賃貸住宅と差別化を図ることができ、入居者募集や安定経営に貢献するシステムとして開発したのが、小規模集合住宅向けにホームセキュリティとインターホンの機能を一体化したセキュリティシステム「セコムAS」です。

「セコムAS」は、各戸に設置したルームコントローラーで、インターホン機能とホームセキュリティ機能を利用することができます。それにより、入居者は空き巣などへの抑止効果を得られるだけでなく、不安を感じたときや急病のときにセコムへ通報するサービスと組み合わせることもできるので、大きな安心感が得られます。セコムは、賃貸住宅のオーナーと入居者にメリットが大きい「セコムAS」を販売することで、賃貸住宅市場でのセキュリティの普及に努め、需要を拡大していきます。



小規模集合住宅向けセキュリティシステム「セコムAS」

その他のセキュリティサービス



利用者が広がる「ココセコム」。
救える命を確実に救うために、「セコムAED
オンライン管理サービス」の普及にも努めています。

「mamorino2」



用途が拡大している「ココセコム」を拡販

セコムは、2001年に屋外用携帯緊急通報システム「ココセコム」を発売して、個人を対象にしたセキュリティ市場を創出しました。

「ココセコム」は、GPS(全地球測位システム)衛星と携帯電話基地局の電波を利用して、携帯端末の位置を高精度に突き止めます。身の危険を感じたときに端末の通報ボタンを押すと、ココセコムオペレーションセンターに緊急通報され、要請に応じて24時間365日緊急対処員が駆けつける仕組みです。

「ココセコム」は、子どもの誘拐や高齢者の徘徊、自動車やオートバイの盗難対策として普及してきましたが、お客様からのさまざまなご要望を反映させ、用途を拡大してきました。現在では、バッグや建設機械の盗難対策、タクシーやバスの運行管理、ATMの破壊・持ち去り対策など、多様な用途に幅広く利用されています。

「ココセコム」を標準装備した 「mamorino」「mamorino2」が好評

「mamorino(マモリーノ)」は、セコムと大手通信会社が協同で開発した、園児から小学校低学年の「安全・安心」を守る防犯ツールです。お子様が「mamorino」の防犯ブザーを鳴らすと、自動的にココセコムオペレーションセンターに通報が入り、お子様の位置を特定します。オペレーターはお子様本人と保護者に連絡し、要請があれば緊急対処員がお子様のもとへ急行して安全を確保します。また、Webサイトの閲覧機能がなく、電話とメールの相手先が限定されているので、メールやインターネットのトラブルからもお子様を守ります。

2011年3月発売の「mamorino2」は、学校などで電源をオフにしても防犯ブザーや位置検索を利用できる「学校向け電源オフ」機能や、お子様の移動した軌跡を保護者の方がスマートフォンやパソコンから地図で確認できる「移動経路通知機能」など、さらに機能を拡大しました。

24時間オンラインでAEDを見守るサービスを開始

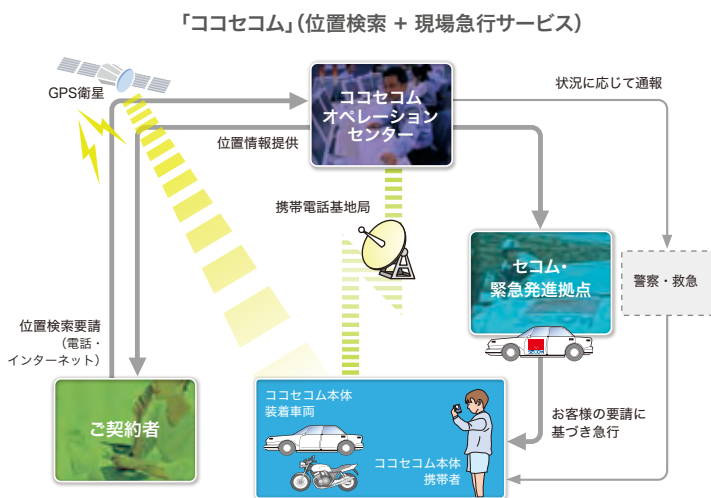
セコムは、救命用の「セコムAEDパッケージサービス」を提供しています。

AED(自動体外式除細動器)の普及が進む一方で、点検漏れで機器の故障が発見されず、いざというときに使用できない事態が憂慮されます。そこでセコムは、オンラインで24時間AEDの状態を管理し、自動的にAEDの日常点検を行う「セコムAEDオンライン管理サービス」の提供を開始しました。

「あらゆる不安のない社会」の実現をめざすセコムは、AEDの普及を社会的使命と考え、一人でも多くの命を救うための管理サービスの導入を積極的に提案しています。



「セコム AED オンライン管理サービス」



海外でのセキュリティサービス

異なる文化やセキュリティニーズに対応し、品質を重視した総合的なセキュリティサービスの提供で成長を続ける海外事業

タイセコム ビタキイ(タイ)の緊急対処員



好調な海外のセキュリティサービス事業

セコムの海外事業は、1978年の台湾への進出を皮切りに、韓国、中国、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、英国、オーストラリア、ニュージーランド、米国の12の国と地域で事業を展開しています。

海外におけるセコムのセキュリティサービス事業の特長は、「セコム方式」のセキュリティサービスを、進出先の国や地域の状況に合わせてカスタマイズして提供しているところにあります。「セコム方式」とは、ご契約先にセキュリティ機器を設置したり、異常をコントロールセンターで監視するだけでなく、異常を検知するとセコムの緊急対処員を急行させ、必要に応じて警察などに通報するオンライン・セキュリティシステムのことです。欧米のオンライン・セキュリティシステムでは、機器の販売、設置、監視を異なる会社が提供するのに対して、日本の「セコム方式」はセコムが一貫してサービスを提供することにより、「安全・安心」のレベルが高いと評価され、着実に需要が拡大しています。

進出先の国と地域で事業が拡大

セコムは、早くから中国の成長力に注目して、1992年に中国市場へ進出しました。当初は、経済成長が著しい沿海部の主要都市で事業を始めましたが、その後は内陸部へも本格進出し、現在では北京、天津、大連、瀋陽、青島、上海、蘇州、無錫、昆山、杭州、寧波、福州、廈門、深圳、広州、

東莞、成都、西安の18都市でセキュリティサービスを提供し、契約件数も着実に伸びています。

中国には、約2,400社の国営の警備会社があり、それに加えて国内や外資の民間セキュリティ会社も続々と進出し、競争が激しくなっています。一方で、安全に対する意識の高まりとともに、質の高いセキュリティサービスが求められています。こうした中で、「セコム方式」のオンライン・セキュリティシステムは、その真価が高く評価され、契約件数が増加しています。

また、セコムでは、2008年に研究開発センターを上海に設置し、中国市場のセキュリティニーズに合わせたサービス・商品の開発にも取り組んでいます。

台湾では、合併会社の中興保全股份有限公司がマーケットシェア第1位のセキュリティサービス会社に成長し、台湾の証券取引所に株式を上場しています。中興保全は、セキュリティ機器をレンタルして長期にわたり安定したサービスを提供



上海セコムセキュリティ(中国)の緊急対処員



セコムオーストラリアのコントロールセンター

するセコムのビジネスモデルを踏襲し、順調に契約件数を増やしています。

韓国では、合併会社のエスワンが、トップシェアのセキュリティサービス会社に成長し、韓国の証券取引所に株式を上場しています。エスワンは、ご家庭から企業、大規模施設まで幅広いご契約先を持ち、契約件数も好調に推移しています。

東南アジアでは、好景気に伴い「セコム方式」のオンライン・セキュリティシステムを筆頭に、各地のニーズに合わせたセキュリティサービス、商品を拡充させています。

タイではマーケットリーダーとして、民間のみならず政府系大型プロジェクトにも多数参画し、総合的なセキュリティを提供することで、存在感を一層高めています。マレーシアでは、人的警備と機器を組み合わせた工場セキュリティシステムを、現地企業や日系企業を含む外資系企業に提供して、現地に根差しています。シンガポールでは、サービスのアウトソーシング化が進み、マーケットも多様化していることから、独自に商品を開発して幅広いサービスを提供しています。インドネシアでは、テロ対策セキュリティ商品を、空港、港湾、重要施設、高層オフィスビルなどに提供して、リーディングカンパニーに成長しています。

英国では、「セコム方式」の高品質なオンライン・セキュリティシステムの実績が評価されて、大手金融機関や著名小売りチェーンをはじめ、オフィス、公共施設、大規模商業施設、ご家庭などで、多くのご契約先を獲得しています。

海外12番目としてニュージーランドに進出

セコムは、1990年にオーストラリアに進出し、オンライン・セキュリティシステムをはじめとして、常駐警備、機器の設置・工事、保守点検などの総合的なサービスを提供し、高い評価を得ています。ご契約先もオーストラリアの大手企業や金融機関、官公庁など多岐にわたり、契約件数は前年度よりも大幅に伸ばしています。これらのご契約先はニュージーランドにも多くの拠点をもち、同様のセキュリティの需要があったことから、セコムはニュージーランドに「セコム方式」のオンライン・セキュリティシステムを提供するために、現地のセキュリティ会社を買収しました。

買収したニュージーランドのセコムガードオール社は、大手金融機関や小売りチェーンストア市場で高いシェアを持つ、セキュリティ機器の販売および保守点検サービスの会社です。セコムは、セコムガードオール社が得意とする保守点検サービスと、セコムが得意とするオンライン・セキュリティシステムと常駐警備サービスを融合し、ニュージーランド全土でも、新たな需要を開拓していきます。



セコムガードオール本社と現地社員

防災サービス



超高層ビルの防災センター

リニューアル需要の増加に対応し、能美防災の
高い技術力と豊富なノウハウを生かして、
新たな防災システムの創造に取り組んでいます。

総合的な防災システムを提供

能美防災は、オフィスビル、プラント、トンネル、文化財、船舶、住宅などのさまざまな施設に、高品質な火災報知設備や消火設備などの防災システムを提供している大手メーカーです。防災システムの研究開発から、機器の製造、設計、施工、保守点検まで行い、一貫責任体制で安全を提供することにより、お客様から信頼を得ています。

近年、オフィスビルなどの老朽化に伴い、火災報知設備のリニューアルが増加し続けています。豊富な施工実績がある能美防災は、このリニューアル需要を重視し、長年培ってきたお客様との信頼関係を生かして、受注を増加させています。今後も、高層ビルなどの火災報知設備は、リニューアルの増加が予想されています。そのため、同社は専門部署を設置して提案営業の質的向上を図り、メーカーの優位性と施工実績を強みに、さらなる受注の拡大をめざしています。

消火設備では、スプリンクラー設備、駐車場などに設置される泡消火設備、水が使用できない場所に設置されるガス系消火設備などを提供しています。能美防災は、プラントや工場、高速道路のトンネルなどの消火設備に関して高度な技術力があり、カスタマイズした消火設備の施工実績を次の受注につなげています。

また、一貫責任体制を実施している能美防災は、防災システムの保守点検を、重要な業務と位置づけています。それは保守点検の際に、お客様とのリレーションを深めてお客様の満足度を向上させることができ、お客様の設備の状況も的確に把握できるからです。この保守点検の積み重ねがリニューアルの発注につながるため、リニューアルを念頭に置いた保守点検活動を積極的に展開しています。

大規模施設向けの実績を生かして 新たな防災システムを創造

能美防災は、防災のパイオニアとして、大規模施設での防災システムでも豊富な施工実績を蓄積し、安全を重視するお客様にそのシステムをご利用いただくことで成長してきました。能美防災は、システムや商品の付加価値を高め、差別化を図ることが重要であると考え、これまでに蓄積してきた高い技術力と豊富なノウハウを生かして、火災の予兆を監視して損害を最小限に抑える火災予兆検知システム「PROTECVIEW」、特定施設水道連結型スプリンクラー設備（乾式）の「グループホームスプリンクラー」、スプリンクラーの技術を応用して周辺の気温を低くする「ドライミスト」などを開発・提供してきました。

能美防災は、このような開発力・技術力の強みを生かして、社会構造の変化を含めた防災のあるべき姿を追求し、今後も防災システムの新たな付加価値を創造して受注の拡大をめざします。



クリーンルーム内火災実験



トンネルの水噴霧設備

メディカルサービス



「アライブ世田谷中町」

「医療」から「介護・福祉」「健康・予防」までを総合的にサポートして、セコムだからできる「安全・安心」を提供しています。

着実に利用が拡大する「在宅医療サービス」

セコムがメディカルサービス事業を始めたのは、「安全・安心」を突き詰めていくと、人の健康や生命を守ることに繋がると考えたからです。現在、「医療」「介護・福祉」「健康・予防」の分野で、さまざまなサービス・商品を提供しています。

メディカルサービス事業の大きな柱である「在宅医療サービス」には、自宅療養中の患者さんを主治医の指示のもとに看護師が訪問して、医療処置などを行う「訪問看護サービス」と、院外処方箋に基づいて保険調剤を行う「薬剤提供サービス」があります。

1991年に開始した「訪問看護サービス」は、セコム独自の研修でスキルを向上させた訪問看護師が質の高い看護サービスを提供し、お客様から高い評価を得ています。「薬剤提供サービス」は、内服薬や外用薬などの一般調剤に加えて、在宅で療養を続ける患者さんのための高カロリー輸液や疼痛緩和用注射薬などの調剤、薬剤師による訪問服薬指導などを行い、順調に拡大しています。

2011年6月に開設した「セコム在宅総合ケアセンター久我山」では、従来の訪問看護、居宅介護支援の枠組みを超えた新しい在宅複合サービスの提供をめざしています。



訪問看護サービス

また、1998年から販売している「セコムの健康食品」を2011年6月にリニューアルして、より高い安全性と品質を追求した新ブランド「からだViBi」を立ち上げ、積極的に拡販しています。

高齢社会のニーズに対応したサービスを拡充

2010年10月には、グループで12カ所目となるシニアレジデンス「アライブ世田谷中町」を東京都世田谷区に開設しました。この施設では、遠隔画像監視システム「セコムIX」や、

ICカードをかざさずに人の出入りを検知する「セコムアクティブICタグシステム」を導入し、セコムならではのセキュリティ体制で、高齢者が安心して生活できる施設を提供しています。

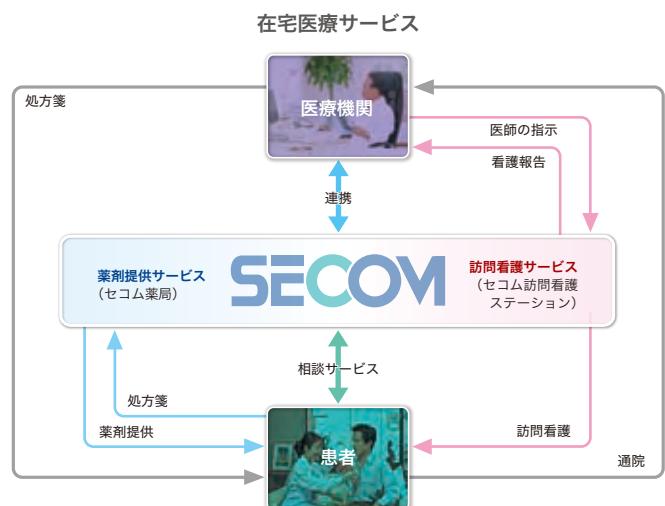
また、2011年4月に通所介護施設「セコムシニア倶楽部」の4カ所目となる「セコムシニア倶楽部藤が丘」を開設しました。この施設は、高齢者の生きがいづくりを支援するデイサービスセンターとして、ご利用者から好評を得ています。

17の提携病院と連携し、運営や医療の質の向上に寄与

セコムの提携病院は、生活者が必要とする最良の医療を提供することで、真に信頼される医療機関をめざしています。

千葉県松戸市の「新東京病院」は、心臓・循環器分野に定評があり、海外の患者の受け入れも視野に、2013年竣工予定の新病院を建設中です。

また、セコムは、遠隔画像診断支援サービス「ホスピネット」や診療データを安全に保管・共有できる「セコム・ユビキタス電子カルテ」などを提供し、効率的な病院・クリニックの運営や医療の質の向上に寄与しています。



保険サービス



「セコム安心マイホーム保険」サポートセンター

セコムならではの
ユニークな保険商品を拡販しています。

競争力を高めた「セコム安心マイホーム保険」

セコムが損害保険事業に進出したのは、犯罪や火災を未然に防ぐセキュリティサービスと、万一被害に遭ったときの損害を補償する損害保険を組み合わせることで、より確かな「安全・安心」を社会に提供できると考えたからです。以来、セコムはグループならではの損害保険を開発し、提供しています。

企業向けの「火災保険セキュリティ割引」とご家庭向けの「セコム安心マイホーム保険」は、オンライン・セキュリティシステムを導入しているお客様の場合、火災リスクが軽減されるため、その分の保険料を抑えた保険です。

「セコム安心マイホーム保険」は、2011年1月から競争力を高めるために内容を改定し、お客様のニーズに合致した最適なプランを提供できるようにしました。

具体的には、ワイド、ベーシック、スリムの3つの基本補償プランの中から、お客様がニーズに合うプランを選択し、そのうえで必要に応じたオプション補償（特約）を選びます。お客様は、自分の必要性に応じて、きめ細かく補償内容を自由に選択し、それに応じた保険料に設定することができます。

さらに、火災リスクが比較的少ない住宅向けの「オール電化住宅割引」「耐火性能割引」も充実させました。



セコム損害保険(株)の本社ビル

このように新しい「セコム安心マイホーム保険」はお客様が自由に補償を選べ、各種割引制度が充実しており、契約数が順調に増加しています。

これらの保険は、セキュリティサービスの契約をきっかけに加入されるお客様がいる一方で、保険の加入をきっかけ

にセキュリティサービスの契約をいただくケースもあり、保険とセキュリティサービスの相乗効果を生み出しています。

加入者が増え続けている

ガン保険「自由診療保険メディコム」

「自由診療保険メディコム」は、健康保険が使える保険診療はもちろん、健康保険が使えないため治療費を全額自己負担する自由診療でも、ガンの入院治療費の自己負担分を全額補償する画期的なガン保険です。2009年4月に補償内容をバージョンアップし、通院日数の制限をなくして5年ごとに最大1,000万円までの補償を実現したことが支持され、加入者が増えています。「自由診療保険メディコム」は、お客様に大変好評だけでなく、保険の専門家からも補償内容などが高く評価されています。セコムは今後も、お客様が費用を気にせず最適な治療を受けることを可能にするガン保険として、「自由診療保険メディコム」を多くのお客様にご紹介していきます。

セコムならではの自動車保険

「セコム安心マイカー保険」

セコムならではのユニークな自動車保険「セコム安心マイカー保険」の特長は、お客様が万一事故に遭った場合、お客様の要請に応じて事故現場にセコムの緊急対応員が駆けつける点にあり、お客様の事故直後の不安を少しでもやわらげることができます。

今後もユニークな特長を持つセコムの保険を積極的にお客様にご紹介し、一層の拡販に努めていきます。

地理情報サービス



国土基本図のイメージ

地理空間情報サービスを活用した
衛星事業や国際事業が拡大しています。

人工衛星を利用した地理情報サービスが拡大

(株)パスコは、航空機を利用した測量や地表データを取得する業務から始まりました。現在は、国土や企業経営の基盤情報として重要な地理空間情報サービスを提供しています。2008年からは、商業用で世界最高水準の解像度を持つドイツの人工衛星「TerraSAR-X」の撮影画像も活用しています。

パスコでは、人工衛星を利用した地理空間情報サービスを提供しており、2011年1月、北海道千歳市に人工衛星データ受信局「北海道地球局」が完成しました。すでに稼働中の沖縄県糸満市の「沖縄地球局」と国内2局体制となり、沖縄1局では10分間だった衛星との交信時間が、16分間に拡大し、防災、環境をはじめ多くの分野で「安全・安心」な社会の実現に一層貢献できる体制になりました。

また、パスコが撮影画像の国内独占販売権と世界への販売権を持つ「TerraSAR-X」は、天候に左右されない撮影が可能で、撮影データをタイムリーに収集できます。利用できる人工衛星も14基に増え、データの品質向上を続けながらサービス拡大をめざしています。

パスコは、人工衛星による自然災害のモニタリングの重要性も提唱してきました。そして東日本大震災では、「TerraSAR-X」で撮影した被災前と被災後の画像解析から、被災地域の自動抽出を行いました。また、地図情報を作

成して関係各機関へ提供することで、被災地の迅速な状況把握と復旧・復興に寄与し、衛星の有用性と衛星を活用した災害監視の機運が高まっています。

日本は、2008年から先進小型衛星の開発を低コスト・短期間で実現する「先進的宇宙システム」(ASNARO: Advanced Satellite with New system ARchitecture for Observation)プロジェクトに着手しています。パスコは、同プロジェクトで衛星画像の受信・加工・処理を効率的に行う「可搬統合型小型地上システム」の開発を担当しています。このシステムは、災害などで通信インフラが寸断された場合でも、車両で被災地に出向き衛星画像データを受信・加工・処理し、提供することができます。

国際事業の受注が拡大

パスコは、フィンランド、ブラジル、ベルギーなどのグループ会社と連携し、国際入札案件への営業体制を強化しています。

開発途上国や資源国、新興国などでは、国の発展のためのインフラ事業などに欠かせない国土基本図整備のニーズが高まっています。今年度からは、インドネシア・スマトラ島の国土基本図整備事業に着手しており、3年半の期間で完成する予定です。今後は、アジア・欧州・ブラジルのネットワークを核にして、サービス提供地域の拡充を図ります。



「北海道地球局」



可搬統合型小型地上システム(1/12スケールモデル)

不動産開発・販売



「グローリオ蘆花公園」

セコムならではの
高度なセキュリティを実現した
マンションを、開発・分譲しています。

「グローリオ蘆花公園」が「優良団地表彰」を受賞

セコムは、「安全・安心で快適なマンション」をコンセプトに、セコムならではの高度なセキュリティを実現した「グローリオマンション」シリーズを、開発・分譲しています。

その代表的なものが、「グローリオ蘆花公園」(東京都世田谷区)です。このマンションは、24時間の出入管理やマンション用セキュリティシステム「セコムMS-3」、遠隔画像

監視システム「セコムIX」、敷地外周にはフェンスセンサーなどが設置され、セコムの高度なセキュリティ体制により、「安全・安心」で高品質な住まいを実現しています。「グローリオ蘆花公園」は、そのコンセプトである「自然との共生」「ゆとりある分棟配置」「安全・安心な住まい」「充実した共用施設」などが評価され、社団法人全国住宅建設産業協会連合会の「優良団地表彰」を受賞しました。

情報通信・その他のサービス



「セキュアデータセンター」新館(左の建物)

情報セキュリティと事業継続計画(BCP)の
多様なニーズに応えられるよう、
サービスメニューを拡充しています。

「セキュアデータセンター」新館のサービスが好調

セコムは、2000年から国内最高水準のセキュリティを実現した「セキュアデータセンター」を開設し、大手金融機関をはじめとする多くのお客様のサーバーやデータをお預かりしています。近年は、機密情報や顧客情報などの漏えい対策や大規模災害時の事業継続計画(BCP)対策として、より高度なセキュリティを完備したデータセンターのニーズが高まっています。

2010年8月にオープンした、5カ所目の「セキュアデータセンター」新館は、セコムが長年培ってきた出入管理システムをはじめ、生体認証システムや金属探知機を導入、また24時間365日情報セキュリティのプロが異常を監視して、万一の場合には迅速な対処を行うなど、セキュリティ環境が施され、安全な立地と堅牢な免震構造など、数々の特長を備えています。「セキュアデータセンター」は、「ハウジングサービス」など

のデータセンターサービスの提供だけでなく、お客様のシステムなどを責任を持って運用・管理するサービスの提供や、「セコム安否確認サービス」など、セコム独自のサービスを提供するクラウドサービスの拠点としても機能しています。



災害監視センター

同センターは、東日本大震災やそれに伴う計画停電時にも影響を受けることなく、お客様の情報資産を保全しました。最近では、省エネルギーに配慮した「セキュアデータセンター」でお客様のサーバーをお

預かりできるため、企業の節電対策に有効な施設としても、評価されています。

需要が高まる「セコム安否確認サービス」

セコムは、大規模災害が発生したときに、社員の安否と被災地の状況を把握して、事業継続や事業の早期再開を支援する「セコム安否確認サービス」を提供しています。このサービスは、品質の高さと使いやすさでお客様から高い評価を得ており、官公庁から民間企業まで幅広くご利用いただいています。

「セコム安否確認サービス」が支持されているのは、国から災害発生時のBCP策定に関するガイドラインが示されたことで、事業継続に必須の危機管理サービスとして広く認知されたからです。東日本大震災でも、その効果を実証され、注目を集めました。

また、セコムにはお客様のニーズに合わせてサービスを柔軟にカスタマイズできる技術力とコンサルティング力があります。例えば、企業の取引先の被災状況を把握する「セコム安否確認サービスSCM(お客様の取引先向け)」、海外の社員の安否を確認する「セコム安否確認サービスGS(グローバル・サテライト)」をラインアップに追加したり、新型インフルエンザへの対応や英語への対応、事業継続に必要なスキルを持つ社員を集めて早期の復旧に対応する社員参集機能など、新たな機能を次々と開発・提供しています。

セコムは、セキュリティサービス事業で培ったノウハウや「セコム安否確認サービス」の事業基盤を活用した危機管理サービスも提供しています。

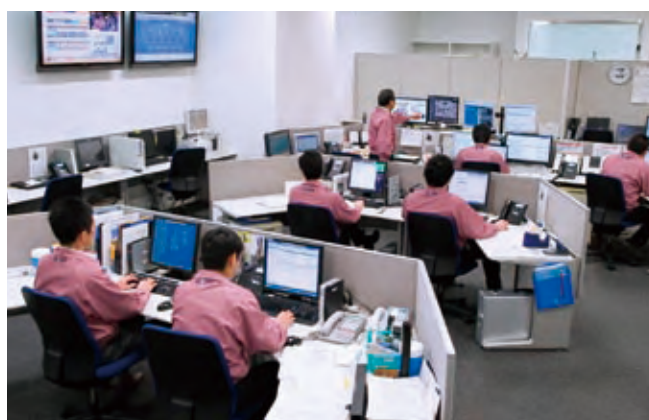


「セキュアデータセンター」のサーバールーム

「初動オペレーションサービス」は、事故や情報漏えいなどの重要事案が発生したときに、専門スタッフがお客様の会社の社員や関係者からの連絡を24時間365日受け付けて経営幹部や責任者に通知することで、組織的な初動対応の早期開始を支援します。「セコム緊急連絡網サービス」は、さまざまな緊急連絡などを電子メールで一斉通知し、自動集計された応答結果を、携帯電話やパソコンで確認することで、迅速な情報伝達を実現します。「初動オペレーションサービス」と「セコム緊急連絡網サービス」を組み合わせることで、重要事案発生を受け付けから社内連絡までの緊急連絡体制を構築することができます。

情報セキュリティの分野では、情報漏えいのリスクについて、専門スタッフがお客様のシステム全体を細かくチェックして診断する「セコム情報漏えい診断サービス」を提供し、幅広い業種・業態で豊富なコンサルティングの実績があります。

さらに、ウイルスのまん延や不正アクセスが発生したときは、情報セキュリティのプロが駆けつけて、24時間365日サポートする「セコムプロフェッショナルサポート」も提供し、システムだけではなく、人によるきめ細かなサービスを実現し、お客様から高い評価をいただいています。



「セキュアデータセンター」新館の監視室

コラム I : 地球環境保全活動への取り組み

セコムは、安全で快適な暮らしの基盤が地球環境の保全であるという認識のもとに、地球環境保全に配慮した行動をとることを「環境基本理念」とし、さまざまな活動を行っています。

● 資源循環型・低炭素型のビジネスモデル

セコムのオンライン・セキュリティシステムは、セキュリティ機器のレンタル方式を採用しており、回収を確実に行うことで、廃棄物の削減やリユース・リサイクルを効率的に行っています。さらに、グリーン調達、環境配慮設計を推進し、資源循環型・低炭素型のビジネスモデルを構築しています。

● 「セコム・エコデータシステム」の販売で企業の省エネ活動を支援

「セコム・エコデータシステム」は、セコムが初めて環境保全事業に進出したシステムです。このシステムは、2010年4月1日に施行された「改正省エネ法」の対象となる企業（約1万社）に求められる電気やガスなどのエネルギー使用状況を、集計して表示します。使用エネルギーを“見える化”することで、年平均1%のエネルギー使用量削減を義務づけられている企業の省エネ活動の推進をサポートしています。

● 事業活動における環境保全の取り組み

セコムは、セキュリティサービス事業で保有する約5,000台の車両を、すべて環境対策車に切り替える計画を進めており、現在環境対策車は84%以上となっています。さらに、電動スクーター



電動スクーター

の導入も開始し、CO₂排出量の削減に寄与する取り組みを広げています。また、「エコ安全ドライブ」の徹底で、業務車両運転時の燃料消費の削減と交通事故の発生防止にも努めています。セコムは、これらの取り組みが認められ、環境省から2010年度の「大気環境保全活動功労者」として表彰されました。

事業所ではLED照明を設置するなど設備の高効率化を図り、その他エコオフィス活動や、家庭でのエコ活動を推進する「セコムecoチーム」活動を展開するなど、社員一人ひとりが環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。セコムは、今後もLCA (Life Cycle Assessment) の観点から、地球環境保全活動に積極的に取り組んでいきます。

コラム II : セコムの企業市民活動

セコムは、2011年3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々に、グループの総合力を結集して、さまざまな支援活動を行いました。

3月15日には、約500万枚のマスクと1万リットルの手指消毒剤を、被災地の各避難所に提供しました。これは、避難所でのウイルス感染を防いだり、被災住宅の後片付けなどで発生する粉塵から鼻や喉を守っていただきたいと考えたためです。

3月26日からは、セコム医療システム(株)がセコムの提携病院の医療スタッフとともに、緊急災害医療援助チーム“SDMAT” (Secom Disaster Medical Assistance Team) を発足させ、医師や看護師などの医療スタッフが被災地の避難所などで、3週間にわたって医療支援を行いました。

また、セコムの提携病院は、(社)全日本病院協会などの要請に応じて、宮城県の被災地に医療救護班を派遣しました。



被災地での医療支援

さらに、地理情報サービスを提供するパスコは、被災地の迅速な状況把握と復旧・復興のために、3月13日から人工衛星「TerraSAR-X」で被災地を撮影し、さまざまな分析や処理を加えた地図情報をWebサイト上で発信し、関係各機関へも提供しました。

セコムは、今後もグループ一丸となって被災地の復旧・復興支援に努めていきます。